

応募申請のポイント

令和4年度東工大基金による学生スタートアップ支援

提出日 令和 年 月 日

	代表学生	共同提案学生 1	共同提案学生 2	共同提案学生 3
所属大学【注 1】	東京工業大学			
所属する学院・系 (研究科・専攻) 等				
所属する研究室 【注 2】				
氏名				
学年				
(留学生の場合) 出身国				
連絡先メール アドレス				

・応募に際して、誰が中心で提案を進めるのかを明確
にしておくことが重要。
・面接審査では、提案の内容はもちろん、中心人物
の人となりや意欲がみられる。

【注 1】 他大学学生との共同申請は妨げないが、代表学生は本学所属であること。記入欄が不足する場合は上記表をコピーし、欄を増やしてよい。

【注 2】 研究室に所属している場合に記入すること。

提案タイトル (副題も含めて、和文 50 字以内、または英文 20 語以内)
できるだけインパクトのあるタイトルがよい。「世の中の☆☆を○○にする」「●●で□□の世界を変える」など。
提案の要旨 (和文 400 字以内、または英文 160 語以内)
どのような人たちに対して何をやりたいのか、それはなぜかを簡潔に記載。 わくわくするところ、絶対に面白いと思えるところがあるとよい。
支援により実施したいことの概要 (和文 200 字以内、または英文 80 語以内)
今回実施したいことをできるだけ具体的に。支援で実施することで何を検証したいか、誰に発信したいかを記載するとよい。

【注】上記の表には全て 10.5 ポイント MS ゴシック、行間 1 行で入力し、ここまでで 1 頁に収めること。

1. 課題への具体的な取り組み方法（独創的な部分を中心に）

テーマへの取り組みの具体的な方法で、アピールしたい新しいところ、ユニークなところは何か。

2. 現在までの取り組み状況

これまでに取り組んできたことを具体的に説明する。成功した話だけでなく、むしろ失敗した取り組みも含めて、これまでに具体的に何を実行してみたのかのリアルな説明が好ましい。

3. 事業化に向けた道筋

支援を受けての活動のあと、何をどのようにやって提案の実現につなげるのか。

4. 応募の動機（個人として）

なぜこの提案をしようと思ったか。この提案を通じて将来どうなりたいか。

この提案はなぜあなたでなくてはいけないのか。

【注】上記の1. から4. まで、各記載欄の高さは適宜調整して構わないが、全て合わせて1頁に収めること。

5. 提案の詳細（図・表・写真・面接審査用資料のいずれかを枠内に添付することも可）

基本的に自由。審査員（ベンチャーキャピタリスト、メンター、先輩起業家）が見てわかりやすく、インパクトのあることがポイント。

【注】上記の5. は全てを1頁に収めること。

6. 東工大基金からの支援によって実施したい内容と期待される効果

支援を使って実施する内容をできるだけ具体的に記載。それによって何を実証したいのか。

7. 支出計画【注3】 本当に必要なものを申請。理由なく100万円まで積み上げることはしない。

・物品費

品名	仕様・台数	金額	支出予定時期
		円	年 月
		円	年 月
		円	年 月
		円	年 月
小計		円	

・旅費

用務内容	旅行先	金額	旅行期間
		円	～
		円	～
小計		円	

・その他

件名	詳細	金額	支出予定時期
		円	年 月
		円	年 月
小計		円	

申請額合計 円

【注3】 支援経費総額は1件あたり100万円を上限とする。交付額は、審査の結果、減額されることがある。また、経費使用は原則、年度内（2023年3月31日まで）に終了するよう計画すること。また、経費の執行は本学の会計規則に従うこと。大学として購入できない物品や飲食等への支出は認められない。記入欄が不足する場合には、適宜コピーして欄を増やしてよい。

【注】 上記の7. は全て10.5ポイントMSゴシック、行間1行で入力すること。

東京工業大学 研究・産学連携本部長 殿

令和4年度の東工大基金による学生スタートアップ支援制度に上記の内容を申請いたします。

本申請書に記載の内容は申請者の独自のアイデアであること、経費の使用にあたっては、学内規定を遵守することを確約いたします。

申請者 : _____ ㊞

上記の学生が学生スタートアップ支援制度に申請することを確認しました。

(採択された場合、本経費の執行管理が必要となります)

指導教員 : _____ ㊞

研究室に所属している学生は、事前に指導教員の確認を受けること。